



Mercedes-Benz

Press Information

2023年11月29日

メルセデス SUV のプラグインハイブリッドモデル

プラグインハイブリッドモデル 「GLC 350 e 4MATIC Sports Edition Star」を発売

- ・ 電気自動車の利便性と内燃機関の安心感を兼ね備えたモデル
- ・ 急速充電CHAdeMOと6.0kWの普通充電に対応
- ・ 電気モーターのみで118km^{*1}の走行が可能

*1: EV走行換算距離(等価EVレンジ)

メルセデス・ベンツ日本株式会社(以下 MBJ、社長:上野金太郎、本社:東京都品川区)は、メルセデス・ベンツのプレミアムミドルサイズ SUV「新型 GLC」に、プラグインハイブリッドモデル「GLC 350 e 4MATIC Sports Edition Star」(以下、GLC 350 e)を追加し、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて本日より発売します。

GLCは2015年にデビューし、2020年と2021年ではメルセデス・ベンツの中でベストセラーSUVモデルとなった全世界での累計販売台数260万台^{*2}を販売するメルセデスのプレミアムミドルサイズSUVです。新型GLCは、伸びやかで美しいシルエットの中にスポーティかつ洗練された要素を取り入れたエクステリアと、リアルウッドインテリアトリムを採用した質感の高いインテリアを併せ持つSUVモデルとして生まれ変わりました。また、ダイナミックなドライビング特性、サポートの精度を高めた安全運転支援システム、縦型の大型メディアディスプレイを搭載しています。

*2: 前身のGLKを含めた累計販売台数

GLC 350 e 4MATIC Sports Edition Starの特長

今回追加するGLC 350 eは、最高出力204PS(150kW)、最大トルク320 N・mを発生する2.0リッター直列4気筒ターボエンジンに、容量が31.2kWhのリチウムイオンバッテリーと出力136PS(100kW)、トルク440N・mの電気モーターを組み合わせたプラグインハイブリッドモデルです。システム総合の最高出力は313PS(230kW)^{*3}、最大トルクが550N・m^{*3}のパワーユニットを備え、電気モーターのみで140km/hまで走行することができ、走行可能な航続距離は118km^{*4}のため、お買い物や通勤など日常では電気自動車のように使用することが可能です。遠方へのドライブではガソリンエンジンで充電しながら走行するなど電気モーターとガソリンエンジンのメリットを掛け合わせることで航続可能距離や充電時間を気にすることなく、安心してお乗り頂くことができる1台です。

*3: 欧州仕様参考値

*4: EV走行換算距離(等価EVレンジ)

GLC 350 e 4MATIC Sports Edition Starのその他の特長

インテリジェントアクセルペダル

「インテリジェントアクセルペダル」は「プレッシャポイント機能」を備えています。EV走行モードの際、これ以上アクセルを踏むとエンジンも使用しなければならないというモーター走行の限界点でアクセルペダルの抵抗を増してドライバーに知らせることにより、無駄なエネルギーの消費を抑えるドライビングを実現します。

急速充電器(CHAdEMO)と普通充電器対応

GLC 350 eは、急速充電器(CHAdEMO)に対応しています。また、6.0kW(30A)^{*5}の交流普通充電にも対応しているため、外出先やご自宅での様々な充電方法に対応しています。

^{*5}: 日本での使用で想定される200V・30A充電の場合。

エクステリアデザイン

メルセデスのデザイン基本思想である「^{センシュアル ビュリティ}Sensual Purity(官能的純粋)」というデザインの基本思想を継承し、ひと目でメルセデス・ベンツ SUV ファミリーの一員であることが分かるとともに、『Intelligence(知性)』と『Emotion(感情)』を感じさせるモデルです。

フロントデザインは、斬新なスターパターングリルを採用しました。立体的に配されたスリーポイントドスターが先進的な表情を生み出し、大胆な開口部を備えたアグレッシブなフロントバンパーとともに、精悍なフロントマスクを形成しています。また、フロントグリルと連続したスリムなヘッドライトや、より精悍さを増した最新デザインのフロントバンパーがワイド感を強調し、圧倒的な存在感を与えています。

サイドデザインは、ラインやエッジを大幅に削減し、曲線を描く彫刻的な面により陰影を生み出しています。これによりプロポーションが強調されるとともに、遅しいホイールアーチにアクセントが与えられています。また、Dピラーに向けて緩やかに上昇するウインドウラインは、スタイリングにスポーティな躍動感を与えています。ヘッドライト/リアコンビネーションランプからそれぞれ伸びる前後のホイールアーチ上のライン、前後ドアパネル下部を貫くライン、これら3本のラインが伸びやかなサイドの曲面に絶妙なエッジを加えることで、力強く表情豊かなボディデザインとなっています。

リアデザインは、力強く張り出したフェンダーと水平基調のリアバンパー、ツーピース構造で内部に立体感があるスリムな新型リアコンビネーションランプにより、リアエンドをよりワイドでシャープに見せるデザインとなりました。リアバンパーにもクロームのアンダーガード風のデザインを採用するとともに、クロームトリムが左右のエグゾーストエンド^{*6}と一体化した力強い造形とすることで、リアエンドに個性を与えています。

^{*6}: エグゾーストエンドとしての機能はなく、ダミーとなります。

Cd値は0.29^{*7}とすることで、高水準のエアロダイナミクスを実現しており、省燃費性能も追求されています。

^{*7}: 欧州参考値

インテリアデザイン

ダッシュボードは上下2つの部分に分かれています。上部は翼のような形状に、航空機エンジンのナセルを想わせる丸みをつけたやや横長の新デザインの角型エアアウトレットが配置されており、スポーティさを演出します。下部には大きなインテリアトリムが広がり、標準仕様でもオプション選択時でもリアルウッドインテリアトリムを採用し、質感の高い室内空間を演出しています。このインテリアトリムはセンターコンソールからダッシュボードへと途切れなく続いています。

アンスラサイトライムウッドインテリアトリム(標準仕様)

ブラックに近いダークグレーに着色され、垂直方向に木目が現れるマット仕上げのライムウッドインテリアトリム。シックで落ち着いた印象を与えます。



ブラックオープンポアウッドインテリアトリム
(AMGレザーエクスクルーシブパッケージ仕様)

ブラックのウッドにオープンポア(マット)仕上げを施し、アクセントとして垂直方向にアルミニウムのラインを取り入れたウッドインテリアトリム。ラグジュアリーでありながら、クールな雰囲気も併せ持つ室内空間を演出します。



また、ダッシュボードと縦型の11.9インチのメディアディスプレイを6度、ドライバー側に傾けた新しいデザインを採用し、ドライバーの視認性を向上させています。運転席に備わる12.3インチの大型コックピットディスプレイは自立型でダッシュボード上部と大きなインテリアトリムの手前に浮かんでいるように見えます。

ダッシュボードの両端を囲むドアパネルはシンプルでモダンなデザインが目を惹きます。ドアのセンターパネルはアームレストを一体化しており、垂直面から水平方向に張り出しています。アームレストの前部はセンターコンソールのデザインを反復するように、クロームをあしらっています。ここはGrabハンドルとなるほか、ドアを閉めるときのグリップともなる部分で、パワーウィンドウのスイッチが配置されています。

GLC 350 eには、メルセデス・ベンツの最新世代のステアリングホイールも採用しています。ナビゲーションやインストルメントクラスター内の各種設定や安全運転支援システムの設定を全て手で完結できる機能性も有しています。さらに、従来はタッチコントロールボタンへの接触やステアリングホイールにかかるトルクで判定していた、ディスタンスアシスト・ディストロニック使用時のハンズオフ検知機能のために、リムに静電容量式センサーを備えたパッドを採用しました。これにより、ステアリングホイールにかかるトルクがなくとも、ドライバーがステアリングホイールを握っていることが認識され、ディスタンスアシスト・ディストロニックの使い勝手を向上しています。

オプション設定で室内を彩る「アンビエントライト」は64色から選択可能で、単色の発光に加えて色の連続変化が可能です。乗車時には、乗員を迎え入れる演出が設定されています。また、エアコンディショナーの温度設定に連動して、青や赤に点灯します。

GLC 350 eは、470L～1,530L^{*8}と大容量のラゲッジルームを備えています。

*8: 欧州参考値

MBUX(メルセデス・ベンツ ユーザー エクスペリエンス)

GLC 350 eには、12.3インチのワイドディスプレイを採用するインストルメントクラスターと、11.9インチの縦型ディスプレイを採用するメディアディスプレイの2画面を標準装備しています。

また、対話型インフォテインメントシステム「MBUX」を採用しました。ボイスコントロールは「Hi, Mercedes」をキーワードとして起動します。音声認識機能は多くのインフォテインメント機能(目的地入力、電話通話、音楽選択、メッセージ入力・読み上げ、気象情報)に加え、クライメートコントロール、各種ヒーター、照明など多様な機能にも対応しています。また、音声認識だけではなく、タッチスクリーン、ステアリングホイールにあるタッチコントロールボタンでも様々な操作をすることが可能です。ドライバーの好みや運転状況に応じて使い分けることが可能です。

MBUX ARナビゲーション

車両の前面に広がる現実の景色がナビゲーション画面の一部に映し出され、その進むべき道路に矢印が表示されるAR (Augmented Reality = 拡張現実)ナビゲーションを標準装備しています。従来、目的地を設定して行先案内をする場合、地図上に進むべき道路がハイライトされますが、ARナビゲーションにより、直感的にどの道路に進むべきかを判断することができます^{*9}。

*9: オン/オフの切り替えが可能です。オフの場合、従来どおり、地図上の道路をハイライトする画面が表示可能です。また、オンの場合は、ARナビゲーションと従来のナビゲーションが同時に表示されます。

生体認証(指紋、声)によるシートポジション等の設定

ドライバーの指紋、声のいずれかの生体認証もしくはPINコードによる認証が可能です。どちらかの認証により、シート、ステアリング、サイドミラーのポジションやコックピットディスプレイの表示スタイル、ペアリングした携帯情報端末、ナビゲーションのお気に入り設定などを統合して読み込むことができます^{*10}。

*10: 認証せず、全て個別に手動で設定することも可能です。

DIGITAL ライト(ウルトラハイビーム付き)

左右のヘッドライトのDIGITALライトは、それぞれ照明モジュールを備えています。このモジュールは 100 万個以上の微小な鏡により光を屈折させることで照射方向を定めます。このため、片側のヘッドライトあたりの解像度は 100 万画素以上となりますが、鏡が占める面積は親指の爪ほどの大きさです。この革新的なヘッドライトは、凹面レンズ「DIGITAL LIGHT」のレタリング、ブルーのアクセントも装備され、デザイン性も高められています。

ヘッドライト片側で 100 万以上のエリアに分割可能な光を照射するため、きわめて正確な配光が可能となりました。これにより、ハイビームアシストが対向車や道路標識に光が当たらないように調整する場合の精度が、従来の 84 画素の光に比べて精度が大きく高まっており、ハイウェイモードやカントリーモード、フォグランプ強化機能などの照明が最大限効果的なものとなりました。

サスペンション

サスペンションは、フロントに 4 リンク式、リアにマルチリンク式を採用しています。AIRMATIC サスペンションを標準装備し、伸び側と縮み側にそれぞれ可変ダンピングシステムを備えており、路面状況、運転状況、乗車人数や積載状況に応じて減衰力を常に最適に保ちます。

リア・アクスルステアリング^{*11}

後輪操舵システム「リア・アクスルステアリング」を採用することで、取り回しがしやすい車になっています。約60km/h以下では、リアホイールをフロントホイールとは逆方向に最大4.5度傾けます。これにより日常の走行シーンや、駐車する際には最小回転半径が5.1mと小さくなるため、クルマが扱いやすくなります。約60km/hを超えると、リアホイールをフロントホイールと同じ方向に最大4.5度操舵することで、走行安定性を大きく高めます。従来のメルセデス・ベンツの美德である小回り性能を犠牲にしないだけでなく、中高速域での安定性や、優れたハンドリングも並立させています。

- 駐車モード: フロントホイールと逆方向に最大 4.5 度
- シティモード: フロントホイールと逆方向に最大 4.5 度 (約 60km/h 以下)
- 高速域での走行安定性: フロントホイールと同方向に最大 4.5 度
- ドライビングダイナミクス向上: フロントホイールと同方向または逆方向に最大 4.5 度 (約 60km/h 以上)

*11: 数値は全て欧州参考値。

テレマティクスサービス「Mercedes me connect」

自動車が通信することによりお客様の利便性を向上する先進的なテレマティクスサービス「Mercedes me connect」は、「安心・安全」と「快適」の側面からお客様のカーライフをサポートします。

「3年間無料、以降7年間自動で継続されるサービス」

- 24時間緊急通報サービス^{*12}: 事故検知時(エアバッグ、シートベルトテンショナー展開時)または車内にあるSOSボタン押下時に、コールセンターが必要に応じて消防に連絡します。
- 24時間故障通報サービス: ツーリングサポートが必要な際に、車内にあるmeボタンを押すとツーリングサポートセンターにつながります。
- リモート(車両)ステータス確認: 車両の走行距離、平均燃費等の状態をアプリ等で確認できます。
- Send2Car: スマートフォンから、ナビゲーションの目的地を遠隔設定できます。

*12: 別途ボッシュサービスソリューションズとの契約が必要です。

「3年間無料のサービス」(有料で継続可)

- リモートウインドウ & サンルーフコントロール^{*13}: スマートフォンの操作でウインドウやスライディングルーフの開閉ができます。
- リモートドアロック&アンロック: スマートフォンの操作で車両ドアのロック、アンロックができます。
- 駐車位置検索: 駐車した車両の位置をアプリの地図上に表示します。
- オフストリートパーキング(オンライン駐車場情報): 駐車場の場所だけではなく空車情報もリアルタイムでナビゲーション地図上に表示します。

*13: リモートサンルーフコントロールはオプション装備のパノラミックスライディングルーフ装着車のみご利用可能。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ^{*14} ()内は消費税抜き車両本体価格
GLC 350 e 4MATIC Sports Edition Star	右	2.0L、直 4 直噴ターボ +プラグインハイブリッド	¥9,980,000 (¥9,072,728)

*14: 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。価格は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。

なお、「GLC 350 e 4MATIC Sports Edition Star」には、新車購入から3年間、一般保証修理/定期メンテナンス(点検整備の作業工賃・交換部品)/24時間ツーリングサポート/地図データ更新^{*15}が無償で提供される走行距離無制限の保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。

メルセデス・ケア終了後も引き続き2年間、一般保証、定期メンテナンスや24時間ツーリングサポートをご利用いただける有償のサービスプログラム「メンテナンス&保証プラス^{*16}」をご用意しています。

*15: 地図データの更新には Mercedes me connect サービスのアクティベーションが必要となります。

*16: メンテナンスサービスは総走行距離 75,000km までで終了となります。



GLC 350 e 4MATIC Sports Edition Star